

サッカースタジアム完成

公式戦など幅広い用途

知名度向上更に促進

【三重】中田商事（中田純一社長、三重県伊賀市）は、中田社長のNPO法人（特定非営利活動法人）が運営するサッカー専用スタジアム（伊賀市）が完成し、本格運用を開始している。既に地元チームの練習場などでグラウンドを使用しているが、今後は公式戦など幅広い用途を見込んでおり、地域社会への貢献と自社の知名度アップを更に進めていく。

（星野誠）

中田商事

10月16日に建屋を含むメインスタンドの工事が完了。中田氏が理事長を務めるNPO法人が運営する「どんぐりパークこどもスタジアム」は、2020年8月にグラウンドが完成したものの、新型コロナウイルスス禍などの影響でメインスタンドの工事が大幅に遅れていた。

完成した建屋は男女別トイレ、更衣室、シャワールーム三つ、ミーティングル

建屋屋上の有料観客席からグラウンドを望む

ーム、業務用製氷機などを備える。建屋の屋上が160人を収容する有料観客席になっており、建屋及び観客席のセットでメインスタンドを構成。また、試合や練習の様子を映し、パブリックビューイングにも活用可能な大型LED（発光ダイオード）ビジョンもゴール側に設置した。

有料観客席は、自動販売機で1本300円の飲み物を購入しチケット代わりにする仕組みだが、グラウンド横に設置された仮設スタンドは無料開放する。グラウンドは昨年から地元チームの練習などに供与しているが、今後はサッカー専用スタジアムとして、公式戦、トレーニングマッチ、指導者講習など幅広い用途を見込んでいる。

中田氏は長年、サッカーチームの運営などを通じ、物流事業と連携した人材確保や地域社会貢献を進めてきた。長男の一輝氏が所属するFCアヴェニータソル

の社会人チームは10月、創立2年目にして全国大会で3位に入賞。また、次男の永一氏がプレーし中田商事がスポンサーのFC伊勢志摩も11月中旬時点で、Jリーグ4部に相当するJFL昇格まであと一歩まで迫っている。

中田氏は「スタジアムの完成と前後し、サッカー関係で良いニュースが相次いでいる。サッカーに深く関わってきたことが、我が社の知名度を高め、人材確保につながっている。スタジアムを活用し、ビジネス面でも良い流れを呼び込みたい」と話している。